

2020年8月号

民主おおがき

OGAKI

発行：日本共産党大垣市委員会
住所：大垣市室本町 5-8 TEL：0584-76-0805

ご意見・ご相談、お気軽にお寄せ下さい！

安心して暮らせる大垣へ

コロナ危機を乗り越えて あなたはどんな社会を望みますか？



自肅と補償はセットで！新しい地域社会を！



少人数学級の実現を求める はんざわ多美議員
(6月市議会一般質問にて)

日本共産党大垣市議団では、「生活が不安」の声を
受けて、「給食費の無償化」「水道料金の免除」
「PCR 検査体制の整備」「休校中の子どものケア」
等について議会で取り上げ、要望活動を行ってき
ました。

安心して暮らせる社会をつくるため
市民と野党の共闘で
国会で多敵派をめざします！



withコロナ時代の自治体のリーダーの姿勢を問う
中田としや議員 (6月市議会一般質問にて)

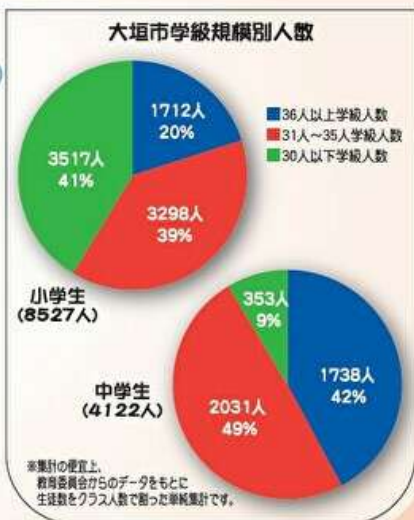
はからずも、コロナ禍で政治の弱点が浮き彫りに!!

教育・医療・介護・福祉の充実で、安心の地域社会を!

教師の増員でゆとりある教育を!

少人数学級は、コロナ禍対応はもちろんのこと、平時の学校現場が抱えている様々な問題・課題にも対応できます。26億円投入する「タブレット」教育だけで、学校現場をかえることはできない。ゆとりを持った子どもたちと教師の関わりの中でこそ豊かな教育が培われます。

大垣市の子どもたち 36~40人学級に **約3400人在籍 ギャウギャウ詰め!!**



〈問題点〉 **大垣市の学校現場は、疲弊しています。**



医療・介護・保健… 命をまもる現場をもっと充実させよう!

コロナ禍で「PCR 検査をやってもらえない」という声がありました。保健師など保健所の職員は行革の中で半減され、一方、医療費を抑えるため病院の病床数を「適正化」の名のもとで、西濃地域の病床数がどんどん減っています。介護分野もヘルパーの慢性的な人手不足で安心して在宅生活が送れる実態はありません。

医療・介護などマンパワーを必要とする分野にしっかりと予算をつけて、安心して生活できる地域社会をつくりましょう。



安心して子育てできる地域にするために…処遇改善で保育士確保を

コロナ蔓延で安倍政権が打ち出した「全国一律休校」で、働く親たちはパニック状態に! これを支えたのは保育所でした。保育所はこどもの発達保障の場であり、働く親たちを支える場であることを改めて実感させられました。しかし、保育の現場も保育士不足で待機児童問題や育休退園問題を抱えています。保育士の処遇改善で安心して子育てができ、働ける地域社会をつくりましょう。



以上、教育・医療・福祉・介護分野は**マンパワーの充実**が決定的に必要です。**正規の職員を増やす**ことは、子どもからお年寄りまで安心して暮らせるまちづくりにつながります。

共産党 Q&A 第3弾

コロナ危機対応予算はすべて借金、「際限なき借金大国」と言われる日本。「財源は大丈夫?」という不安の声。共産党の財源案は?

「消費税5%減税」を前提に、以下の財源確保を提案



- 1 大企業に中小企業なみの法人課税 **4兆円**
- 2 大株主優遇をただし、所得税の最高税率上げる **3.1兆円**
- 3 「辺野古基地」**2.5兆円**・「アメリカの兵器爆買い」**6兆円**・「米軍思いやり予算」**1兆円**をやめる **9.5兆円**
- 4 予備費「**10兆円**」は、国民のいのちと暮らしを守るコロナ対策に

ご意見・ご相談、お気軽にお寄せ下さい!

民主おおがき **OGAKI**

発行: 日本共産党大垣市委員会
 住所: 大垣市室本町 5-8 TEL: 0584-78-6865
 中田 としや: nakatatoshiya015@gmail.com
 はんざわ多美: hancyan_tamicyan@yahoo.co.jp

日本共産党 Japanese Communist Party